Marubeni

Marubeni IR Day 2025

戦略プラットフォーム型 事業の成長戦略 北米モビリティ事業

専務執行役員

板井 二郎





1990年代までは日本車(特定OEM)の輸出商社として従事現在はOEMに依存しない顧客志向の事業を北米全域で展開

当社北米モビリティ事業の歩み



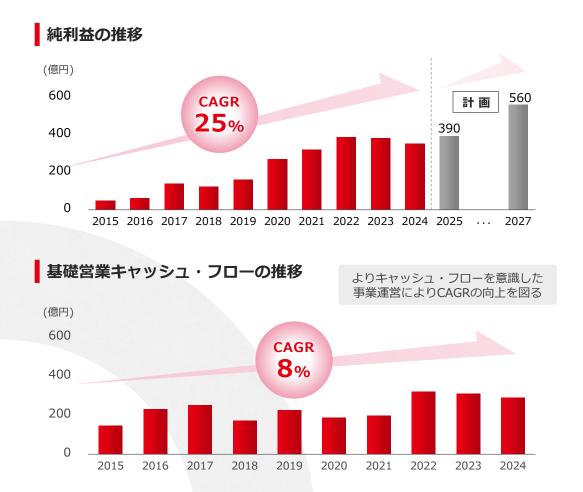
特定のOEMやベンダーに依存しない 顧客志向のサービス中心事業へと ビジネスモデルを転換

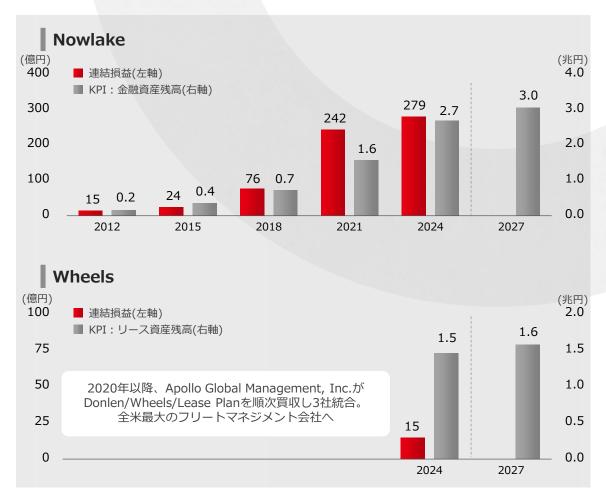
北米自動車産業のバリューチェーン概要および当社既存事業





Nowlake・Wheelsを核に更なる成長を狙う





2015年度: XLP買収/2017年度: TPH買収及びTDF持分パートアウト(100%→50%)/2019年度: PLM持分パートアウト(100%→50%) / 2024年度: Wheels買収

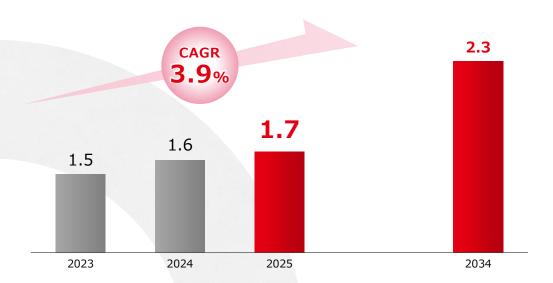


北米における生活必需品は衣食住+「クルマ」 人口増加と共に底堅い成長が続く世界最大の市場

米国自動車産業市場規模(USD兆)

USD1.7兆(GDPの6%)

(参考)日本はUSD0.1兆(GDPの3%、USD1=150円)

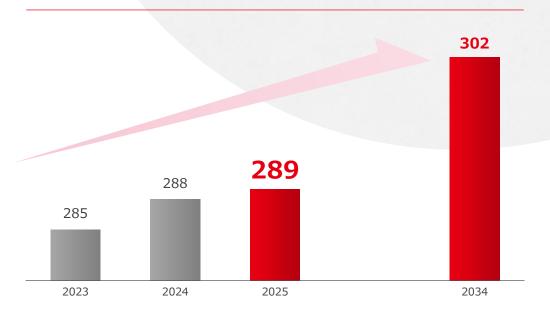


(出典)Market Research Future | 内閣府「国民経済計算」

車両稼働台数(百万台)

289百万台(日本は79百万台)

一台当たり年間走行距離19,000km(日本は7,000km)



(出典)PwC | 日本自動車工業会 | 三菱総合研究所

北米モビリティ戦略プラットフォーム<高付加価値> (Nowlake)



圧倒的なデータ量と AI/DX を駆使し、ディーラーを囲い込み集客幅広い顧客のニーズに応じたファイナンス機会を提供



融資件数残高

約160万件

金融資産

約190億米ドル

ファイナンス引合件数

1,000万件/年

北米モビリティ戦略プラットフォーム<高付加価値> (Wheels)



企業活動に不可欠な車両の「取得から処分までのライフサイクル」における 管理業務を一括して請け負い、顧客の課題に包括的な解決策を提供



優良顧客数

約2,000社 (約7割が投資適格)

リース資産残高

約104億米ドル

管理台数

約90万台

年間ベンダー利用料

75億米ドル



既存事業との連動 × 未参入の隣接領域進出により更なる拡張

新たな事業を生み出す 大きなプラットフォーム を形成 DRIVING* NOWLAKE C&K WHEELS Parts TPH

さらに強固な プラットフォームへ

多様な未参入の隣接領域 への進出



強力なパートナーと連携

APOLLO



世界有数の アセットマネジメント会社

全米最大 ディーラーグループ

既存事業との連動

- Wheels(リース)、TDF(レンタル)の掛け合わせによる 事業モデルトの補完
- PLMとWheels間の相互送客
- Nowlake、Wheels等が生み出す中古車両の活用
- アフター部品事業とWheels間の協業

未参入の隣接領域への拡張

- 自動車バリューチェーンにおける多様な領域への進出 (車両登録、架装、保険、輸送、事故管理、オークション等)
- 自動車ライフサイクルにおけるあらゆる収益機会を捉える

自動車バリューチェーンにおける多様な領域

• ディーラー

● 架装業者

製浩

OEM

販売

サービスショップ機器

ファイナンス リース/レンタル/ローン

ソフトウェア DMS

F&I

保険

保険関連

● GAP(全損時残債

補償保険)

延長保証

新車ディーラー

- 独立系整備業者
- 板余
- タイヤ • ガソリンスタンド
- EVチャージャー
- ショップマネジメント システム

● 部品

• オイル

部品

● 車両登録

- 事故管理
- 高速道路料金管理

FMサービス

- 燃料カード EVチャージャー
- オークション
- リポゼッション ● 車両輸送
- スクラップ/リサイクル

再販・輸送・廃車

- サルベージ
- リマン



着実なオーガニックグロースと新たな事業創出により 強固な戦略プラットフォームへ

純利益目標

390億円

2025年度

+170億円

560億円 2027年度 ROIC 13%程度

さらなる成長と 利益拡大を目指す

CAGR 20%

オーガニックグロース

- 金融資産積み上げ
- サービスの重ね売り等による客単価の上昇
- ・ 顧客の更なる開拓、取扱い車両拡張

既存事業との連動

未参入隣接領域への拡張